

「どうなん健康づくり21（第三次）」与那国町健康増進計画
パブリックコメント結果について

<パブリックコメント実施結果>

分類	件数
①計画全般に関すること	6件
②数値目標に関すること	2件
③施策に関すること	13件
④その他	6件
合計	27件

<意見とそれに対する回答>

	意見	回答	分類
1	与那国町の状況や目標について知らないこともあったので、島民に周知されやすく、日常的に意識づけができる方法ができると良いと感じた。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。健康に関する数値については、福祉まつりのブース等で展示を行ったりしていましたが、広報誌等でも情報提供を行って参ります。	①
2	商店に勤務しているが、毎日決まった甘い飲み物や揚げ物、たばこを頻繁に買いに来る方が多くいる。そういった習慣を続けるとどんな害があるのか等シンプルなポスターの掲示やちらし、SNSの活用などあれば良い。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。世代や健康意識の有無の関わらず、商店は多くの方が集います。掲示スペースには限りがあると思いますが、健康意識を高められる掲示物やSNSの活用も検討して参ります。	④
3	早い時間から連日お酒を買いに来る方や手が震えている方も見かけるので、交通事故なども含めて心配に思う時がある。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。飲酒の問題は本町において大きな課題と言えます。早い時間からの飲酒を制限することは難しいですが、適量までの飲酒や休肝日を設けることなど根強く指導を続けて参ります。	④
4	より幅広い世代が参加しやすいイベントができたらと思う。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。現在、健康に関するイベントは毎年11月23日（勤労感謝の日）に実施している福祉と健康づくりの集いがあります。毎年ブース内容を工夫しながら集客に努めています。	③
5	花ゆりサロンや社協の集まりを楽しみに	貴重なご意見を賜りありがとうございます。	④

	して生き生きと出かける方がいる一方で、行くのが恥ずかしいと言っている方の声も聞くので、イベントなどをきっかけに抵抗を感じにくくならないかと思う。	性別や世代、個人の性格等さまざまな要素があり、集団の通いの場に気持ちが向かない方もいらっしゃいます。しかし、健康長寿の実現のためには、高齢者の社会参加は重要な要素のひとつとなっています。通いの場以外にも、仕事を持つことやボランティア活動を行うといった、社会との繋がりを持てるよう、社会福祉協議会等関係機関と連携を図りながら進めて参りたいと思います。	
6	食育を通じて食べたいものを食べるだけでなく、身体に何が必要か考えていくことで先の健康に繋がっていくと思うので今後も与那国町の状況が更に良くなってほしい。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。食に関しては、本計画とは別に食育推進計画を策定し、進めているものです。関係機関と連携を密にし、住民たちの健康的な食生活の実現に向けて進めて参ります。	①
7	素晴らしい計画案だと感じた。現状や課題等重点的に取り組む項目も挙がっていて詳しく分析されているのだと感じた。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。現状や課題については、今後も定期的に評価を行うこととしております。本計画においても6年後には中間評価を行うこととしておりますので、都度、見直しを行って参ります。	①
8	R4の評価結果で、なぜ改善が見られなかったのか？原因があるのか分からないが、今回取り組むに当たり、分かればアプローチの仕方が多様になると感じた。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。改善が見られなかったもの、悪化したものに対しては重点項目として取り上げ、取組を強化していく予定としております。	①
9	働き盛り世代の受診率を上げられれば各施策の目標達成率は上がるのではと思う。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。働き盛りの受診率向上は、さまざまな健康目標達成に向けた入り口に当たると思います。毎年受けている方だけではなく、普段から受診しない方や毎年受診ではなく空いてしまう方も毎年受診してもらえるよう受診勧奨を工夫していきたいと思います。	②
10	忙しくて受診できない、休みにくい、抜けにくいという職場環境を変えてもらえるよう、各事業所への働きかけも併せて勧めてもらえると診療所としても助かる。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。職場としては、雇用している従業員の健診受診は義務となっています。保険者（協会けんぽ等）の方からも必ず受診するよう働きかけがあるはずですが、町としても積極的に受診できるよう進めていきたいと思います。	③

11	最終評価の目標達成状況が数値のみの表記のため、全37目標項目内容とどの項目が目標値に達しているのか悪化しているのか等情報が気になる。(序章1-(2))	貴重なご意見を賜りありがとうございます。ご指摘の通り、最終評価につきましては、会議中には資料と解説を委員の皆様へ報告致しましたが、本計画の中では見えにくい状況でした。ご意見を踏まえ、最終評価一覧を追加したいと思います。	②
12	データが豊富で年代や地域別から自分の町の現状が把握できて良かった。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。健康に関するデータをまとめ、課題を洗い出しています。	③
13	目標や施策等はもう少し具体的に個人が動けるところまで詰めるのが良いと思う。ライフステージ別で計画を立てると取り組みやすい環境に整えられるのでは。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。施策の内容につきましては、行政のみならず関係機関団体の取組もあるため、すべてを個人単位の目標値にして掲げることは現実では無く難しいと感じます。ただ、ライフステージ毎の取組に整理することは分かりやすい指標となることが考えられますので、中間評価等の際には参考に検討したいと思います。	①
14	幼児の歯は母胎で形成される時点で強弱が決まってくるので生まれる前からの予防指導を重視する必要があると思う。むし歯になりにくい歯を作ることでむし歯減少。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。歯科保健については、妊産婦の歯科相談及び就学前の歯科相談、健診会場での成人歯科相談を実施しています。生まれる前からの歯科相談としては、妊婦歯科相談が適切な時期ですので、その際には啓蒙して参りたいと思います。	③
15	近年 PC やスマホと長時間向き合う人が増え、年齢に関係なく視力低下や姿勢悪化、乳幼児に関しては脳への影響が危険視されている。その辺りの対策も検討すべきではないかと思う。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。どうなん健康づくり推進会議においても、委員の方からスマホ使用による視力低下についての意見が寄せられました。スマホやPC、タブレットといった画面を長時間見ることでの視力低下、睡眠の質の低下等が懸念されますが、学校保健とも連携し、スマホ等の利用について啓蒙して参りたいと思います。	③
16	知らなかった言葉や詳しく知りたいことがコラムの中で書かれてあり、分かりやすい。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。コラムについては、時事に合わせて選択して掲載していますが、今後も新しい言葉や事柄	①

		が出てきた際には情報提供して参ります。	
17	P52の飲酒の習慣で、与那国の地理や地形までも背景として影響があるのか疑問に思った。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。与那国の伝統行事等にはお酒が密接に関わっており、神様へお供えするだけでなく、清めるために飲酒することもあります。昔の書物や映像記録にも多くのお酒との関わりの様子が残されており、飲酒の課題は根深く、容易ではありません。しかし、放置していいものでもありませんので、少しずつ、適正飲酒ができるよう子どもの頃からの教育も行いながら進めて参ります。	③
18	歯科受診の渡航費助成がとても助かっていて良いと思うが、子どもを連れて行くと結局親は受診しない限り自費になるので付き添いの分も少しでも助成があると行きやすいと思った。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。島内に歯科医院が無いということで、歯科医院受診に係る渡航費の助成を令和6年5月から開始しております。子どもの受診について、付き添いの保護者の渡航費がかかるというご指摘ですが、保護者の方にも助成制度がありますので、一緒に受診して頂ければと考えます。	③
19	子どもの頃から大人になるにつれて肥満率が高いことが分かった。健診受診率が高いと言うことは、健康意識が高いということだと思う。しかし、肥満等の健康課題が解決されないということは、島の食材が調達しにくいという現状があるため地産地消が推進されれば、改善されるのではないかと思った。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。本町は離島の離島という環境で、健診を受ける機会が少ないため、集団健診の受診率は他の地域に比較して高めとなっています。健診を受けるだけでなく、健康的な生活が送れるよう、食材の調達についても生産者が増えるよう他機関と連携していきたいと思えます。	③
20	飲酒習慣の箇所、飲酒が多いのは男性だと思っていたが、女性の飲酒も多くあることが気になった。女性の飲酒について分析を進め、男性より適量が少ないといった情報周知等、女性の飲酒対策も進めたほうが良い。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。飲酒についての課題は、本計画でも重点項目に挙げております。しかし、女性に特化した事業等は現在実施しておらず、健康についても性差に着目した取組はほとんどありません。国も女性の健康については新たな視点として掲載しており、若年女性のやせ、骨粗鬆症対策、妊婦の喫煙に並んで女性の飲酒についても掲載されています。今後、本町におい	③

		ても、性差に着目した取組を行って参ります。	
21	自衛隊の喫煙率など健康面についてアプローチを行ったら良いと思う。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。本町の人口は30歳代40歳代の男性人口が多く、これは自衛隊の影響だと考えられます。母子手帳発行時の配偶者（夫、パートナー）の喫煙の有無について、配偶者の喫煙が自衛隊においても多く見られています。自衛隊の健康管理については、職場（自衛隊医務室）が管理していますが、一方で与那国町民でもありますので、喫煙についてもアプローチを行っていくことは大切だと考えます。	④
22	町全体、地区ごとなど健康づくりのため世代間交流ができる健康づくり活動を行っていく。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。公民館単位で地域行事を通して世代間交流を行っているところですが、健康づくりをテーマとした活動は行っていない現状です。体育協会主催の運動イベントがあるものの、若い方が中心となるため、世代問わず一緒に取り組めるものを体育協会や公民館と連携を図りながら検討して参ります。	④
23	診療所や人が集まる場所、住民健診の際など、簡単にロコモチェックできるようにする。（ポスターを貼るとか、自分はいくつ該当するか目で見て分かるようにする）	貴重なご意見を賜りありがとうございます。ご提案いただいたように、介護予防の情報提供として、目で見て簡単に分かるような掲示物の工夫を行って参りたいと思います。	③
24	食べるフレイル予防として理想的な食事、食品摂取とはどういうものか、講座や料理教室など住民が学ぶ場を作る。	貴重なご意見を賜りありがとうございます。現在、希望される方や診療所及び社会福祉協議会から紹介のあった方には訪問栄養指導を行っています。令和6年度中に配食サービス利用者へのアンケートによれば、講座や料理教室の需要は少ない結果となりました。ミニデイやサロン利用者全員に対してのアンケートでは無かったため、高齢者のニーズ把握に努めたいと思います。	④
25	喫煙について、「現状と目標（P56）」において喫煙率の推移がグラフで示されているが、年代別の喫煙率の把握が望まし	貴重なご意見を賜りありがとうございます。喫煙率の統計データは国保特定健診の数値を使用しており、こちらは40歳以上の健診	③

	<p>く感じる。今後の施策や展開を策定するには、どの年代にボリュームがあるのかによって施策内容が大きく変わるため。特に10代20代の若年層にどの程度喫煙率があるのかは大きく施策に影響する。具体的な喫煙実態を調査すること自体が重要な施策になり得ると考える。</p>	<p>受診者の数値となっています（国や県と比較するため）。町内には20歳代の健診を受けている人口が少ないため統計を取るのが難しいという実情もあります。ターゲットを絞った施策のため年代や性別の分析についても今後検討してまいります。</p>	
26	<p>歯・口腔の健康（P61）について、各年代の口腔健康や健診状況の統計が多く示され分析がなされている一方で、与那国町が特有に抱える状況や環境にあまり触れて考察がなされていない。統計データによる分析のみに留まり、そのため課題・展開内容が沖縄県・全国と比較して変わり映えがない。少なからず触れている「歯科医院がない」「継続的な受診がしにくい環境」の部分に深く着目した項目の必要を感じる。</p>	<p>貴重なご意見を賜りありがとうございます。現在、島内に歯科医院が無い状況のため、歯科医院の誘致を進めると同時に歯科受診のための渡航費助成を行っているところです。この事業の中で、アンケートを実施しており、事業効果等を評価する予定です。ここから当該計画に数値目標として挙げている「定期的に歯科検診を受診する者の増加」「歯周病治療を有する者の減少」等が改善していくかを考察してまいりたいと思います。</p>	③
27	<p>「飲酒の割合の低減」に向けて、飲酒習慣という個人の「行動要因」のみに着目が留まっているため、「なぜ飲酒をしてしまうのか？増えてしまうのか？」という個人をとりまく「環境要因」に対する視点の記述が不足している。伴って与那国町が特有に抱える問題への考察が少ない。わずかに「文化や食生活の中で、形成されたものであるため…（P52 現状と目標）」の記載で一文触れられているが、この部分を掘り下げた考察がなければ、与那国町の健康増進計画としての意義はほぼないと思う。</p>	<p>貴重なご意見を賜りありがとうございます。飲酒については、ストレス解消方法の一つ、人とのコミュニケーション手段の一つ、一日の疲れをとる生きがいの一つ、といった、精神面の理由も少なくなく、個人個人の問題もさまざまです。また簡単に購入できる日本の環境や、島内酒造所が2カ所ある本町の経済的な側面もあります。多くの要因が複雑に絡み合う飲酒問題は要因の解析も非常に難しいため、本町行政だけでなく、関係機関・団体と検討を重ねながら、また市町村単位だけでなく、県全体としても取り組むべき課題であるため、県とも連携を図りながらすすめていきたいと思います。</p>	③